

一般社団法人 日本ジュニアヨットクラブ連盟 平成31年度（令和元年度）定時総会議事録

日 時 令和元年6月8日（土）10時00分～12時00分
場 所 東京海員会館 大会議室
東京都中央区晴海3-7-1

1. 定足数の確認

出席会員17名、委任状17名、計34名。従ってジュニアヨットクラブを代表する正会員29名、学識経験者である正会員23名、合計52名の正会員の過半数を超えて定款第32条（総会成立）の定足数に達しているので本総会の成立を確認しました。

2. 開会の挨拶

石原伸晃会長は公務のため出席出来ず、秘書の皆さんも多忙とのことで代理出席も出来ないのでは、お詫びするとともに、熱心な討議での盛会を祈りますとの連絡がありました。

佐藤精知会副会長、安井清副会長が体調不良、病気療養中で欠席のため、伊藤雅宣副会長が、「今年国際交流競技会は東京の若洲で開催する予定で、4カ国の外国チームが参加しますが、初めて参加の台湾チームが来ます。しっかりと運営して良い大会にするよう皆さんで努力しましょう。今年は理事、監事の改選ですので、本日の総会で選出頂きます。来年の国際交流競技会の開催実施可否の案件もあるので十分に審議をお願いします。総会終了後には連盟の会長表彰式もあります。」と開会の挨拶をしました。

3. 来賓の祝辞

(1) (公財) B&G 財団

前田康吉会長は所用の為出席出来ず、古山透常務理事もご都合がつかないという事で、代理で企画部岡田聖一次長がご出席頂ける予定でしたが、「海ゴミゼロフェスティバル」行事が実施される事が決まり欠席となったとの連絡を頂き、定時総会の盛会をお祈りするとのことでした。

(2) (公財) 日本セーリング連盟

(公財) 日本セーリング連盟の河野博文会長から、出席出来ないとの連絡があり、他の役員も都合がつかないので誰も本総会に出席出来ずお許し頂きたい、盛会を祈りますと連絡がありました。

4. 議長選出

定款第30条により会長が議長となる所公務により欠席の為、定款第14条の2により、又予め会長が指名した順序に従い副会長の伊藤雅宣が議長に選出されました。

5. 議事録署名人選出

定款第34条による議事録署名人選出は議長一任の議決により、以下の2名を議長より推薦し、全会一致で承認、選出され、両氏も了承しました。

箱守 康之氏（YMF Sジュニアヨットスクール葉山代表者）

大平 邦夫氏（いわきジュニアヨットクラブ代表者）

6. 議案審議

(1) 第一号議案 平成30年度事業報告書(案)承認の件

伊藤専務理事より配布資料、並びにプロジェクター映写の資料に沿って平成30年度事業報告書(案)の説明を行いました。

説明終了後、質疑応答の後、議長より第一号議案の承認を求めたところ、全会一致で承認可決されました。

(2) 第二号議案 平成30年度財務諸表(案)承認の件 （監査報告）

伊藤専務理事より配布資料、並びにプロジェクター映写の資料に沿って平成30年度財務諸表(案)について説明を行いました。

続いて、平成30年度財務諸表(案)並びに当連盟理事の職務執行状況等について、滝川宗一監事より下記の通り監査報告を行いました。

「茅野信行監事と私（滝川）が令和元年度5月7日に監査を行いました。関係帳簿、証憑及び関係書類を監査した結果、公益法人会計基準に沿い、いずれも公正妥当なものと認められました。又、理事会、その他の会議にも出席しておりますが理事等役員の業務執行についても特別問題となる事はなく妥当であると判断いたしましたので併せて報告いたします。」

（監査報告書添付）

質疑応答の後、議長より第二号議案の承認を求めたところ、全会一致で承認可決されました。

(3) 第三号議案 理事20名、監事2名選任候補(案)承認の件

伊藤専務理事より配布資料並びにプロジェクター映写の資料に沿って、本定時総会終結の時を以って現在の理事19名、監事2名は退任となるので、新たに理事20名、監事2名の選任をお願いしたいと説明し、新任候補者として葛西信一氏、竹腰真紀子氏を、他の18名は再選として選任をお願いしたいと説明した。

その後、議長より第三号議案の承認を求めたところ、全会一致で承認可決されました。

議長は、以上により平成30年度定時総会の議案の審議は全て終了したと閉会を宣しました。

7. 報告事項

(1) 令和元年度会長表彰者決定についての報告

中川二郎常務理事より配布資料並びにプロジェクターの資料に沿って、当連盟の令和元年度会長表彰者2氏を、令和元年5月15日開催の理事会において、箱守康之氏（YMF Sジュニアヨットスクール葉山代表者）、井上義朗氏（葉山町セーリング協会 会長）に可決決定した旨報告され、表彰式は本日の定時総会終了後に当会場において行う旨説明されました。

(2) 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2019（若洲大会）について

担当の塩野崎英二常務理事から現在までの準備状況について、日本スポーツ振興センターからの助成金の内定を頂いた旨説明あった。参加申込締め切りが6月30日であること、今回初めて台湾チームから参加の連絡があったので、本年度の招待国はオーストラリア、ニュージーランド、韓国、台湾の4カ国になったことが説明されました。

尚、東京都からの助成金については進展なく無理と推測されると説明されました。

(3) 第29回ジュニアヨット国際親善東京レガッタ（ミキハウスカップ東京2019）及び

第6回ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ（ミキハウスカップ大阪2019）について

東京レガッタ実行委員長の野村泰造理事より、ミキハウスカップ東京2019は、昨年と同じ東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所で、9月8日（日）、NPO法人マリンプレイス東京と東京都ヨット連盟の協力を頂いて開催予定であり、江東区のKインターナショナルスクール、幕張インターナショナルスクールその他にも体験セーリングを呼び掛けていると説明されました。玉置理事が所用により欠席となったので、小野澤理事より、ミキハウスカップ大阪2019は本年も大阪府ヨットセーリング連盟二色ハーバー（大阪府貝塚市）で、10月20日（日）に、大阪府ヨットセーリング連盟との共同主催で開催予定であるとの説明が行われました。

(4) 来年度の国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2020開催可否の問題について

伊藤専務理事より、来年8月初めは東京オリンピックの期間中であり、会場をどこにするかの問題とともに、どこにしても競技会運営スタッフが十分に集まるかの問題もあり、来年度の国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会は中止の方向で今まで話を進めて来たと説明した。日本スポーツ振興センター助成金受給について、一度開催を中断すると再度申請して認可を受けることが難しくなるのではないかという問題、競技会は出来れば継続開催が望ましいということ、開催時期を以前に3年間開催したことがある5月連休中に開催することの可能性を開催地候補地も含めて再検討すべきとの議論の結果、問題点の確認、候補地等の打診等、来年度も開催することが可能かを再検討することとなった。

8. 閉会の挨拶

司会進行の原田理事より総会での報告事項の終了が案内されました。

最後に、伊藤雅宣副会長から閉会の挨拶があり、散会しました。

(12時00分に終了する。)

上記の決議を明確にするため、議長及び議事録署名人は記名、押印する。

令和元年6月8日

議長
東京都目黒区鷹番1丁目9番3号

伊藤 雅宣

議事録署名人
静岡県磐田市新貝2500
公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団

箱守 康之

(YMF Sジュニアヨットスクール葉山代表者)

議事録署名人
福島県いわき市小名浜大原西細野地103-7

大平 邦夫

(いわきジュニアヨットクラブ代表者)